

日付：2022年 4月 5日（火）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	「量子メス」 がん集中攻撃 東芝などの次世代装置 について	日経 12 がん・ 医療保障	- がん治療に新たな光をもたらす「量子メス」と呼ぶ技術の実現が近づいてきた - この量子メスは、重粒子線を使った治療。重粒子線を使った治療は既に存在するが、従来より小型で高性能。東芝などが開発に携わり、今夏にも世界に先駆けて実機を着工 - この、重粒子線による治療は放射線治療の一つだが、他の放射線治療に比べ多くの利点がある。がんの病巣をピンポイントで狙い撃ちし、正常な細胞へのダメージを最小限に抑えられるため副作用が少ない。エックス線などが苦手な体の奥のがんの治療に向き、手術などが難しい骨・軟部肉腫や頭頸部（とうけいぶ）のがんにも有効。また治療期間も短くて済み、副作用も少なく、臓器がんなどやっかいながんの治療の道を広げると期待される - 導入するメリットは大きいですが、従来の重粒子線の治療装置には課題があった。装置が巨大でコストが高いことだ（当初の装置は、サッカーコートほどの大きさで、建設費も320億）	■ がんの話題として活用 ■ がん保障の最新化や拡充 ■ 一時金の保障だけでなく、再発や退院後の通院（抗がん剤）、先進医療など
2	炭素半減に最大 30兆ドル IPCC報告 について	日経 1 大見出し・ 投資	- 国連の気候変動に関する政府間パネルは4日、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5度以内に抑える目標達成の方策をまとめた - 世界の温暖化ガス排出量は遅くとも2025年には減少に転じさせる必要があるとする。排出量を30年に半減するには、最大で30兆ドルの投資が必要 - 一方、ロシアのウクライナ侵攻を受け、天然ガスの輸入をロシアに頼っていたドイツなどの欧州各国では、廃止予定だった石炭火力を使い続けるといった動きも予想。世界的なインフレ懸念もあり各国の関心は化石燃料の増産に向く - 国際協調の揺らぎが地球規模の温暖化対策に大きな課題 - なお今回の方針は、ロシアのウクライナ侵攻といった動きは反映できていない	■ 本日の大見出しとして情報をアップデート ■ 投資などの話題にも活用
3	がん検診、昨年 「コロナ前」戻らず について	日経 43 コロナ・ がん	21年に自治体が実施した胃、肺、大腸、乳房、子宮頸（けい）部のがん検診の受診者数は19年比1割減で、新型コロナウイルス流行前の水準には戻っていない（日本対がん協会） - 減少幅が最も大きかったのは胃がんの検診で13%減 - がんが進行してから見つかる恐れがあるとして、早期の受診を呼びかけている。	■ 直近の健康診断の受診傾向や不調の有無（体況） ■ 体調が万全なうちに保障を最新化

市況情報※

日経平均/前日比	27,736.47	70.49	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.002%
TOPIX	1,953.63	9.36	国債(5年)/前日差	0.010%/ ▲0.005
ダウ平均	34,921.88	103.61	国債(10年)	0.205%/ ▲0.010
上海総合指数	3,282.72	30.51	米国債(10年)	2.403%/ 0.020
ドル円	122.65-66	7銭安	中国国債(10年)	2.804%/ ▲0.010

今日は何の日

- ・ヘアカットの日⇒
- ・デビューの日
- （長嶋茂雄が先発出場）
- ・横町の日

1872(明治5)年のこの日、東京府が女子の断髪禁止令を出した。前年に散髪、脱刀が許可されたが、これを受けて断髪をする女性が続出したため、「男性に限って許可した断髪を女性が真似てはならない」とする禁止令を發布した

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：人との繋がりを大切にする世話好きな人

長所

- ・愛情表現が豊か
- ・話術が巧み
- ・まめな性格をしている

短所

- ・他人の地雷がわからない
 - ・嫌なことを人に押し付ける
 - ・気分屋
- 誕生花：イチジク
花言葉：子宝に恵まれる・多産・実りある恋・豊富裕福・平安・飽和

誕生日
カラー
青色

詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：先進医療を知ろう（重粒子線治療）！ポイントと、平均費用や実施人数等

- 特定の大学病院などで研究・開発された難病などの新しい治療や手術などは、ある程度実績を積んで確立されると、厚生労働省に「先進医療」として認められます。先進医療は、公的医療保険の対象にするかを評価する段階にある治療・手術などです。
- 2022年3月1日現在、先進医療は81種類となっています（対象は随時入れ替え）
- 先進医療の技術料は公的医療保険の対象外で、全額自己負担になります。

実施患者数等の大幅減少は、2020年3月末をもって多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障手術）が先進医療の適応から除外されたため

1. 先進医療、過去5年間の実績（2015.7～2020.6）

実績報告対象期間		技術数	実施医療機関数	全患者数	先進医療及び旧高度先進医療の総額	1人平均
2016年6月30日時点の実績	2015.7.1～2016.6.30	100	876施設	24,785人	約186億円	750,454円
2017年6月30日時点の実績	2016.7.1～2017.6.30	102	885施設	32,984人	約207億円	627,577円
2018年6月30日時点の実績	2017.7.1～2018.6.30	92	936施設	28,539人	約240億円	840,954円
2019年6月30日時点の実績	2018.7.1～2019.6.30	88	1,184施設	39,178人	約298億円	760,631円
2020年6月30日時点の実績	2019.7.1～2020.6.30	83	252施設	5,459人	約62億円	1,135,739円

2. 先進医療技術別、詳細（重粒子線治療）

※第93回先進医療会議資料「令和2年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について 令和2年度（令和元年7月1日～令和2年6月30日）実績報告より」を基に算出。

番号	先進医療技術名	対象（適応症）	先進医療技術について	先進医療の実績		
				費用の平均額	平均入院期間	年間実施人数
4	重粒子線治療	肺・縦隔腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る。）	がん細胞を破壊する威力は従来の放射線の2倍～3倍	約312万円	8.2日	703人
27	重粒子線治療	肝細胞がん（初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつC h i l d－P u g h 分類による点数が七点未満のものに限る。）	残された肝機能を保ちながら生存率の向上が期待できる	約332万円	2.8日	8人
28	重粒子線治療	非小細胞肺癌（ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。）	副作用が極めて少なく、より高い治療効果で生存率の向上が期待できる	約330万円	0.4日	11人
45	重粒子線治療	直腸がん（術後に再発したものであって、骨盤内に限局するものに限る。）	再発した直腸がんに対しても高い治療効果と生存率の向上が期待できる	約317万円	12.9日	14人

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。お問い合わせ等は下記 URL までご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複写・複製・転載することは禁じられております (<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k's らぼ株式会社